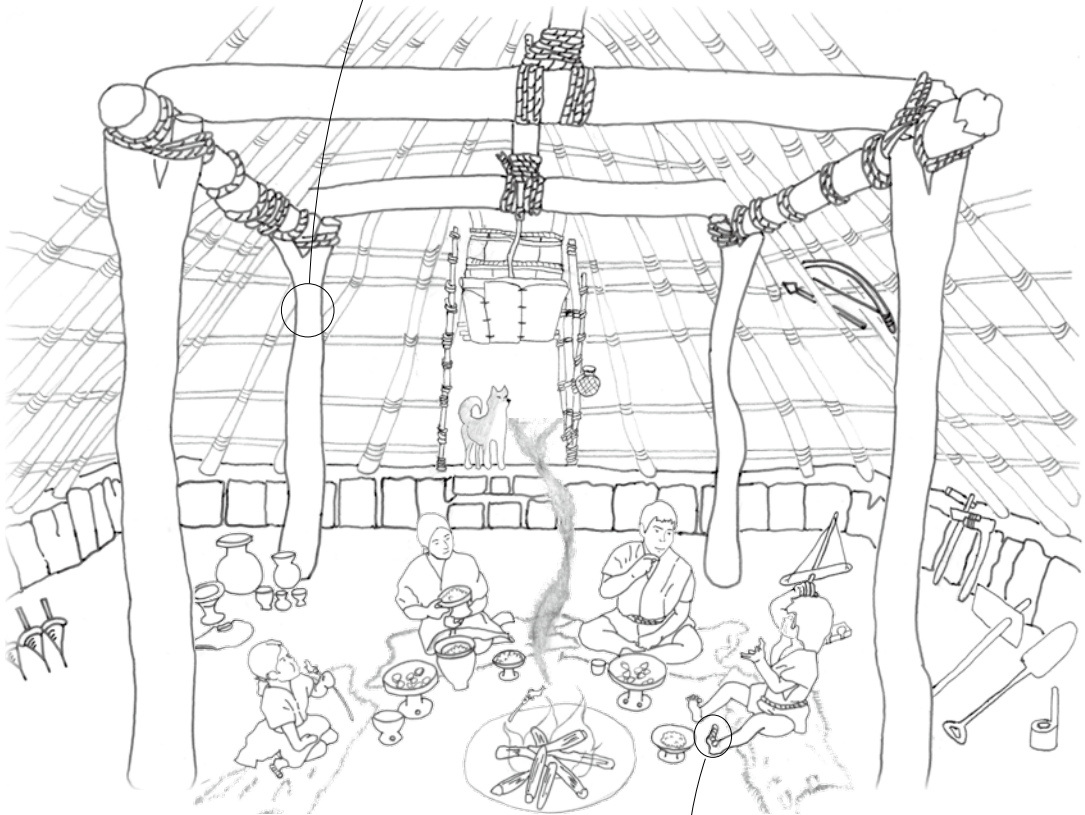


例) 今の柱は四角いけど、ここのは丸くて、皮もついたままだね。切るのが大変だったのかな。



例) わたしの足より指がひらいてるね。はだいで歩いてたせいかな。

やよいじん 弥生人のくらし

弥生時代終わりごろの家のの中に、家族の食事のようすを再現しています。家の中には1つの部屋しかなく、この中で料理も食事^ねも寝ることなども、すべておこなわれています。また、まん中にある炉^ろは調理だけでなく、夜のあかりや暖房にもなります。はしの方には道具や食べ物がおいてあり、物置^{ものおき}になっています。

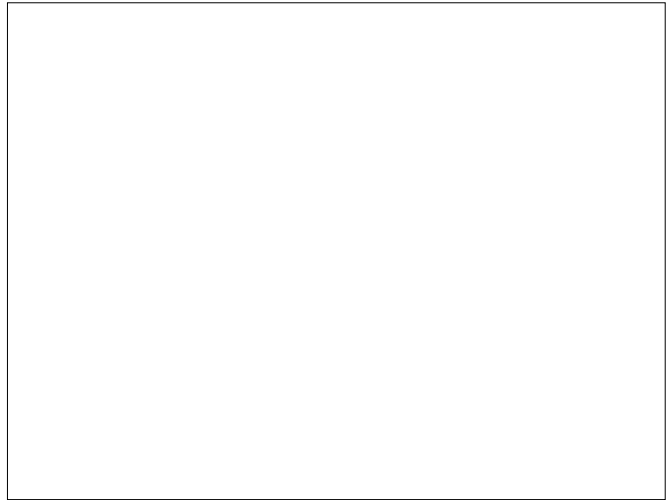
☆ みんなの家とくらべて違うところ、同じところを探して、「例」のように図のまわり^{ちが}に書き出してみよう。たくさんあるから友達とも話し合ってみよう。

弥生の絵

「弥生の暮らし」のとなりにあるガラスのかべには、弥生時代の人たちが描いた3つの絵があるよ。その中から左下の絵の作業を描いたものを選んで□にかいてみよう。

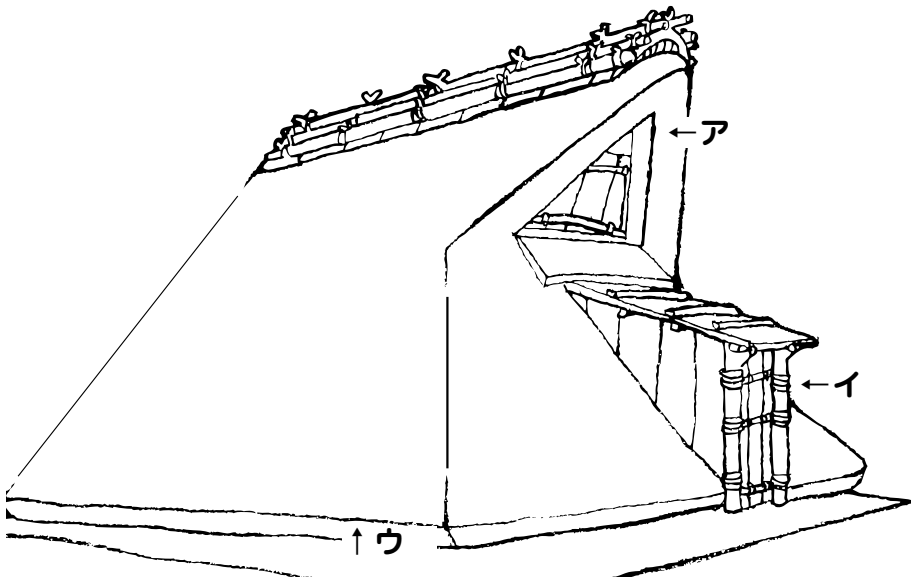


いなほ だっこく せいはいく
稲穂の脱穀・精白をする作業



弥生の建物～竪穴住居～

弥生の家族が住む家を玄関から見ると、家の床は外の地面よりも1段低くなっています。穴を掘って床を低くすることで、夏はすずしく、冬はあたたかい家になります。このような建物を「竪穴住居」と呼んでいます。



☆ 家の炉で火を燃やすと煙が出るけど、その煙がもっとも多く外に出てくる場所は図のア～ウのどれかな。 ()